



小牧市制70周年記念航空自衛隊中部航空音楽隊音楽演奏会



8月1日(金)小牧基地は小牧市に所在する基地として、小牧市制70周年を記念し、航空自衛隊中部航空音楽隊による演奏会を小牧市市民会館にて開催しました。

本演奏会は、幅広い年齢層の多くの方楽しんで頂けるよう2部制とし、第1部(昼の部)はお子様向けの楽曲や来場者の指揮者体験等の演出が随所に施され、小さなお子様と一緒に楽しんで頂ける演奏会になりました。

第2部(夜の部)は第1部とは打って変わり、大人向けの演奏曲で構成されました。また、終盤には近傍の小牧南高校吹奏楽部との合奏も行われ、事前に合同練習をした成果もあり、大変すばらしい音色を響かせ、会場は割れんばかりの拍手に包まれました。また、ロビーでは航空自衛隊の職種紹介パネルの展示及び基地の隊員が編集した小牧基地紹介映像を放映し、航空自衛隊を広く知って頂くための広報も行いました。

小牧基地は今後も市に所在する基地として、地元との協力を努めて参ります。



体験搭乗



8月5日(火)第1輸送航空隊はK/C-130H輸送機による体験搭乗を実施しました。

今回の体験搭乗は自衛隊を就職先として考えている若者を中心に行い、普段は接することのない自衛官及び航空機等に直接触れて実感してもらい、より強く興味を抱いて頂き航空自衛隊及び小牧基地への理解を深く持つもらうために実施しました。

夏休み期間中もあり、東海・北陸及び近畿地区の11箇所の自衛隊地方協力本部から計126名もの多数の方が参加し、雲一つ見当たらない快晴の中のフライトを満喫された体験搭乗者は、着陸後満面の笑みを浮かべて機体を後にして、それぞれの帰路につきました。この日の体験搭乗はきっと彼らの心に忘れられない記憶として残ったことでしょう。

今後もこのような機会を作り、自衛隊に興味を持つ若者に航空自衛隊及び小牧基地を発信していけるよう努めて参ります。



防衛・基地モニター一所在部隊研修

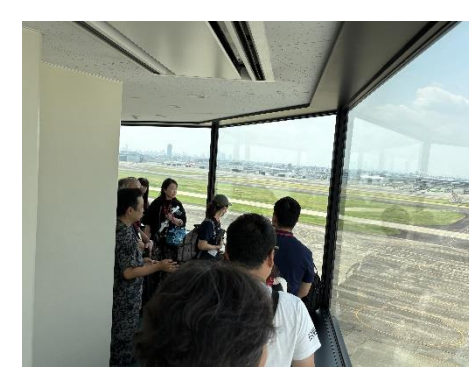


8月29日(金)防衛・基地モニターによる小牧基地所在部隊研修を実施しました。

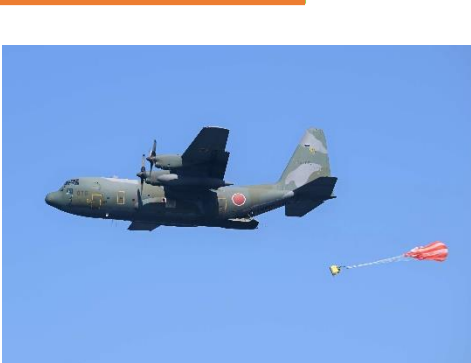
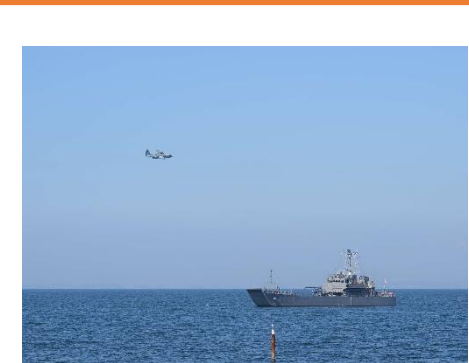
今回は基地に所在する航空救難団整備群、救難教育隊、小牧管制隊、小牧気象隊、航空機動衛生隊及び第5術科学校において、各職種及び各機能を紹介し、小牧基地の機能を理解してもらうことを目的に実施しました。

小牧基地と言えばこれまでとりわけ輸送機、それを運用している第1輸送航空隊がフォーカスされがちでしたが、今春からのTVドラマ「P〜航空救難団〜」の放映により、もっと詳しく小牧基地を知りたいとのことで猛暑日の中ではありましたが、大変熱心に隊員の説明に耳を傾け、時間いっぱい質問をされました。

今回は普段残りの事出来ない管制シミュレータや大阪万博におけるブルーインパルス飛行展示の気象観測支援を小牧基地の隊員が実施する等の各職種ならではの貴重な話を聞くことができモニターの皆様は一様に驚いてました。



愛知県・田原市総合防災訓練



8月31日(日)小牧基地は、愛知県・田原市総合防災訓練に参加しました。本訓練は、「県民総ぐるみ防災訓練」の一つとして、南海トラフ地震を想定した愛知県、田原市、各防災関係機関(90機関、約2,000人)、地域住民等の参加協力のもとに4箇所の会場に分かれ総合的な防災訓練を実施し、大規模災害発生時における対処能力を向上させるとともに、関係機関との連携の強化を図りました。

小牧基地は、田原市白谷海浜公園において人名救助システムの展示、警備犬による倒壊家屋からの救出訓練、白谷海浜公園全面海域における物資空輸訓練(物量投下)及び物量投下に関する地上統制、管制、気象支援を実施しました。

K/C-130H輸送機から洋上へ投下された訓練用資材は、海上に待機していた海上自衛隊の輸送艇及び海上保安庁の巡視船により回収され、その後ゴムボートへ移されたのち、ビーチに待機していた陸上自衛隊の隊員により訓練会場へ運ばれました。

今後も小牧基地は災害対処訓練を実施し、災害時における各種対処能力の向上に努めてまいります。